

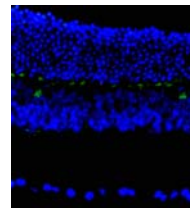
Anti human EAR2 mouse monoclonal antibody

EAR2: V-erbA related orphan nuclear receptor

製品コード	PP-H9929A-00
Clone No.	H9929A
Lot.	A-1
濃度	1mg/mL
容量	100μL
Ig class	G2a
Nomenclature	NR2F6
Genebank	X12794
由来	ヒトEAR2 (2-50 aa) の大腸菌発現物を免疫したBALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。
特異性	ヒトEAR2と特異的に反応する。ヒトCOUP-TF IおよびCOUP-TF IIと反応しない。マウスおよびラットEAR2と交差反応する。
精製法	硫酸塩析法
溶媒	生理的食塩水 防腐剤として0.1% NaN3添加

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot	可	参考使用濃度 1μg/mL
非還元 Western Blot	可	参考使用濃度 3μg/mL
ELISA	可	参考使用濃度 0.03μg/mL (A450=1)
免疫沈降	未検討	参考使用濃度 -
Supershift Assay	未検討	参考使用濃度 -
クロマチン免疫沈降	未検討	参考使用濃度 -
免疫染色	可	参考使用濃度 適宜調製してください



マウス
網膜

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献

備考 溶媒に含まれるNaN3は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Aug 22, 2006